

# 夢洲関連工事の関係車両（工事車両・通勤車両）の通行時間帯と調整状況

通勤車両のルート毎、時間帯毎の調整結果

Confidential  
事業調整会議関係者限り

## ◆流入 通勤車両（小型車換算）（単位：台）

	通行可能台数			
	北	中央	南	合計
6時台	1,375	180	330	1,885
7時台	1,310	80	300	1,690
合計	2,685	260	630	3,575

（単位：台）

事業全体の想定ピーク台数				
北	中央	南	合計	
817	272	238	1,327	
530	172	247	949	
1,347	444	485	2,276	

## ◆流出 通勤車両（小型車換算）（単位：台）

	通行可能台数			
	北	中央	南	合計
17時台	1,240	340	590	2,170
18時台	1,335	540	740	2,615
合計	2,575	880	1,330	4,785

（単位：台）

事業全体の想定ピーク台数				
北	中央	南	合計	
566	192	188	946	
782	252	297	1,331	
1,348	444	485	2,277	

- ・ 合計数では、流入、流出ともに想定台数が通行可能台数以下となっている
- ・ 中央ルート（流入）においては、想定台数が通行可能台数を超過しているため、事業者間で調整するよう依頼済み

# 夢洲関連事業における工事車両の運行管理

Confidential  
事業調整会議関係者限り

## 【ICTを活用した工事車両の運行管理システム】

- 異なる事業の多くの工事車両が、時間帯毎に配分された台数を遵守しているかを管理する必要があることから、**ICTを活用した運行管理システムを構築**していく。
- R5年度には、万博工事が本格化し、IR工事の着手も見込まれていることから、R4年度にはシステムを構築して試行実施を行い、R5年度からの本格運用をめざす。

### ① 南北ルート別、時間帯別上限台数の設定

- 工事車両の配分調整結果を踏まえ、ルート別（北・中央・南）、時間帯別の通行可能台数を設定（上限）

P29

### ② 工事用車両の事前登録

- 夢洲へ流入する工事車両の車両ナンバーを事前登録
- 必要に応じて事業者間で台数調整



### ③ 工事車両の運行確認と通行状況の把握

- 道路上に設置したAIカメラ等で通行確認（車両ナンバーを読み取り、登録車両かどうかを自動照合）
- 入退場ゲート到着時に車両情報をAIカメラ等で確認し、登録車両かどうかを照合（未登録車両は、別途登録）
- 違反事業者に警告



カメラ等設置箇所（案）

## 【工事車両の運行管理システムの構築方針】

### ○クラウドの活用

クラウドサービスを活用し、クラウド上に工事車両運行管理システムを構築し、インターネット経由で利用。

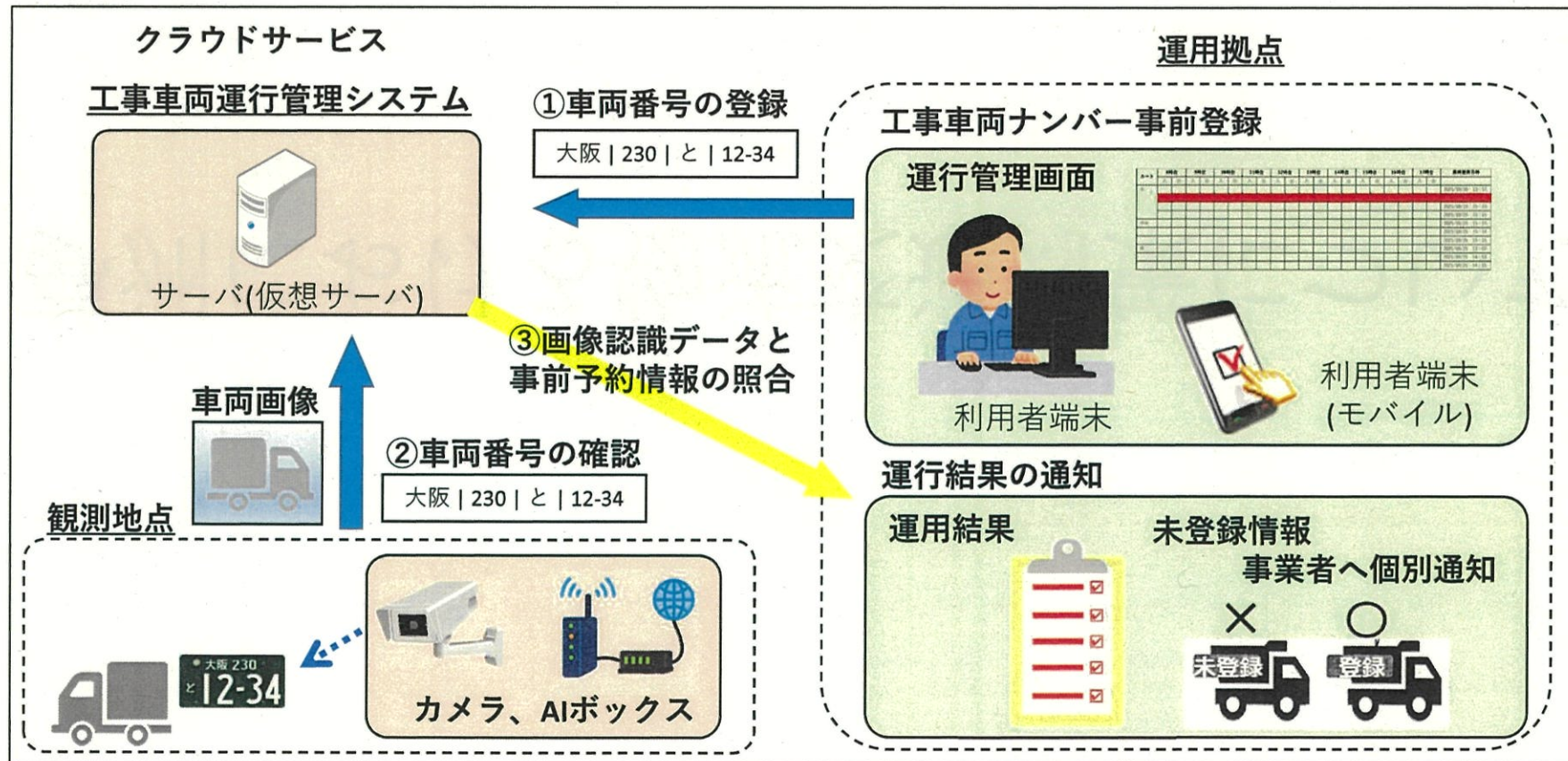
### ○工事車両ナンバーの事前登録

利用者端末からインターネットを経由し、工事車両ナンバーを事前登録

### ○車両検知方式

運行ルート上にAIカメラを設置し、カメラとクラウドシステムを連動させることで、画像認識したデータと事前予約情報を照合。

P30



# 夢洲における物流交通対策について

令和4年3月9日

大阪港湾局